



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第3号

2025年5月29日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

スポーツフェスティバル(運動会)でのSP活動

5月20日(火)、片葩小でスポーツフェスティバル(運動会)があり、水谷SPが駆けつけてくれました。当初は17日(土)がスポーツフェスティバルの本番でしたが、残念ながら雨で20日に延期となりました。水谷SPは17日にも片葩小に来て、授業のサポートをしてくれたそうです。子どもたちも楽しみにしていただけに、残念に思っていたことでしょう。そんな“普段とちょっと違う日”に、水谷SPが来てくれたことで、助かった場面がきっとあったのではないかと思います。



こうした「ちょっと大変そうだな」と思う日に積極的に学校に来てくれること、しかも土曜日に来てくれることに感謝です。私が大学生だったらきっと「よし、講義も休みだからボランティア行こう!!」だなんて思えません。本当に意識の高い学生さんが来てくれているなあと、頭が下がります。

20日は最高気温が30度になりました。雲一つなく、絶好の運動会日和でしたが、子どもはもちろん大人も熱中症が心配なこの時期。水谷SPも先生たちと一緒に炎天下の中、子どもたちのサポートをしていました。「大丈夫?気を付けてね。」と声をかけると、「大丈夫です!」と全力の笑顔でこたえてくれました。子どもたちにもしんどい顔一つ見せず、爽やかな笑顔で終始関わってくれていました。子どもたちが楽しみにしていた、一生懸命練習してきた運動会。その想いをよく分かって動いてくれたのだと思います。子どもたちが一番輝けるように、さりげなく、静かに、そっと、黒子のように支援に回っていました。先生方から「これをして」という指示は特になかったようですが、全体の様子を見て動いてくれたようです。こんなこと、普通の大学生はできません。ウィークリーSPだから、そして子どもたちの普段の様子をよく知っている水谷SPだからこそ、できたことだと思います。暑い中、本当にありがとうございました!!

